

相馬福島道路(霊山道路)
りょうぜん

日本大学工学部の新入生186名が橋梁工事を見学します
～将来を担う技術者の卵たちが現場を体験～

「相馬福島道路 霊山道路」は、平成29年度の開通に向けて工事を進めています。
この度、日本大学工学部土木工学科の新入生の皆様による橋梁現場の見学会を開催し、土木技術を学んでいただきます。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路（無料）であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙2参照】

記

1. 日 時 : 平成28年4月4日(月)
2. 見学場所 : 月舘高架橋 : 13:50～15:00(予定)
福島県伊達市月舘町御代田地内 【別紙1参照】
3. 参加者 : 日本大学工学部土木工学科 1年生 186名
4. その他 : 取材を希望される方は、見学開始時間までに現場へお越し下さい。
※雨天でも開催します。

【発表記者会:福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問い合わせ先

《事業に関すること》

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話 024-546-4331(代)

工務第二課長 おやまだ 小山田 かつら 桂夫(内線411)



【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

別紙2

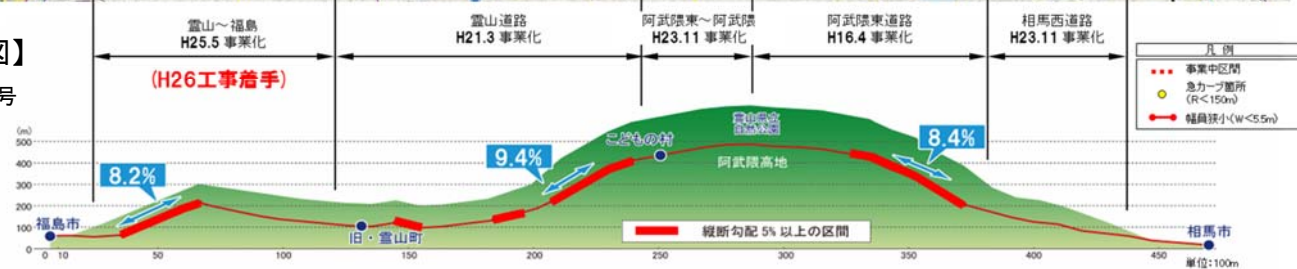
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



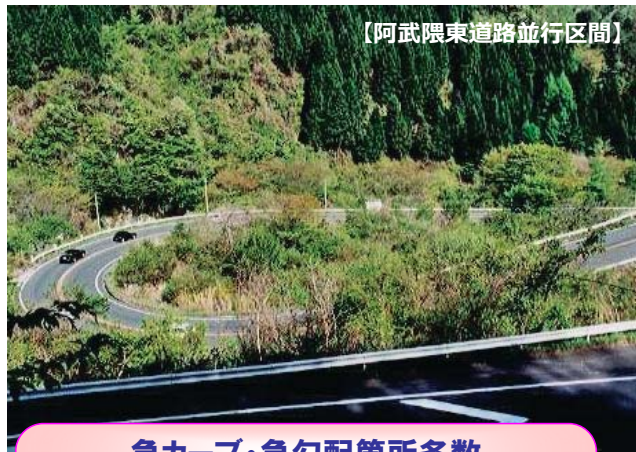
国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

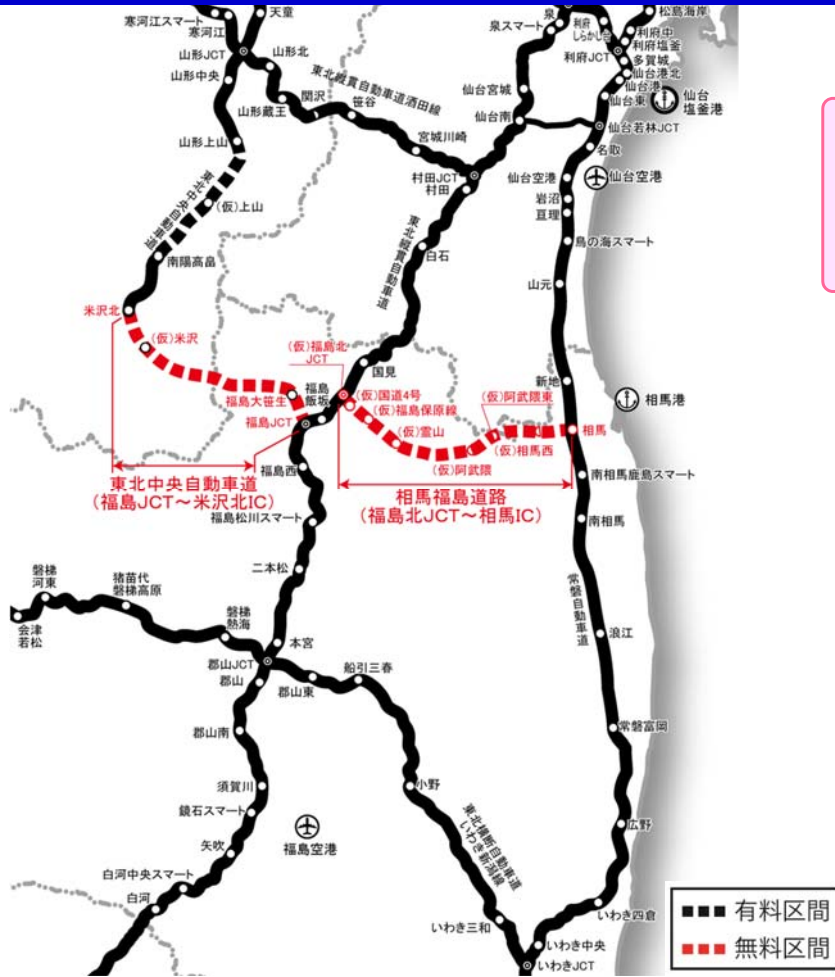


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

福島飯坂 I C ⇔ 相馬市役所間

整備前 整備後

76分 → 41分

(35分短縮)

【参考】

米沢市(米沢IC)⇔福島市(福島大笹生IC)間

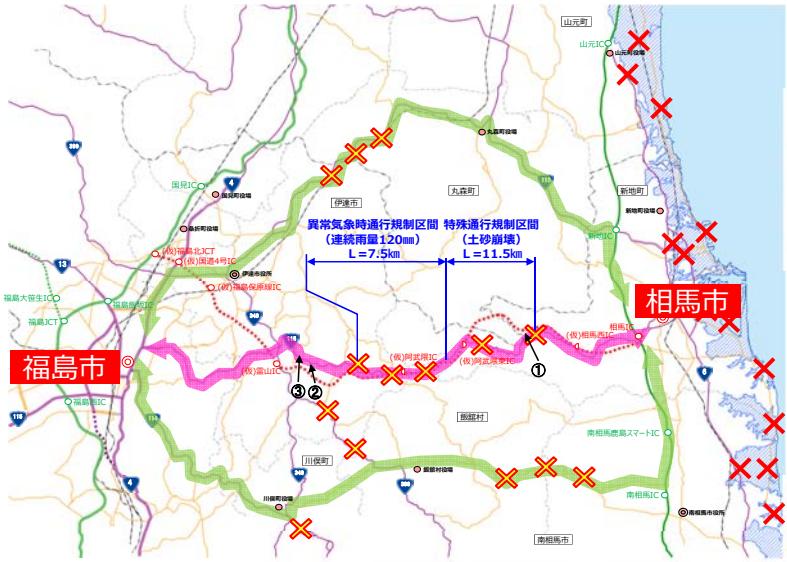
整備前 整備後

40分 → 20分

(20分短縮)

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止18回/17年)

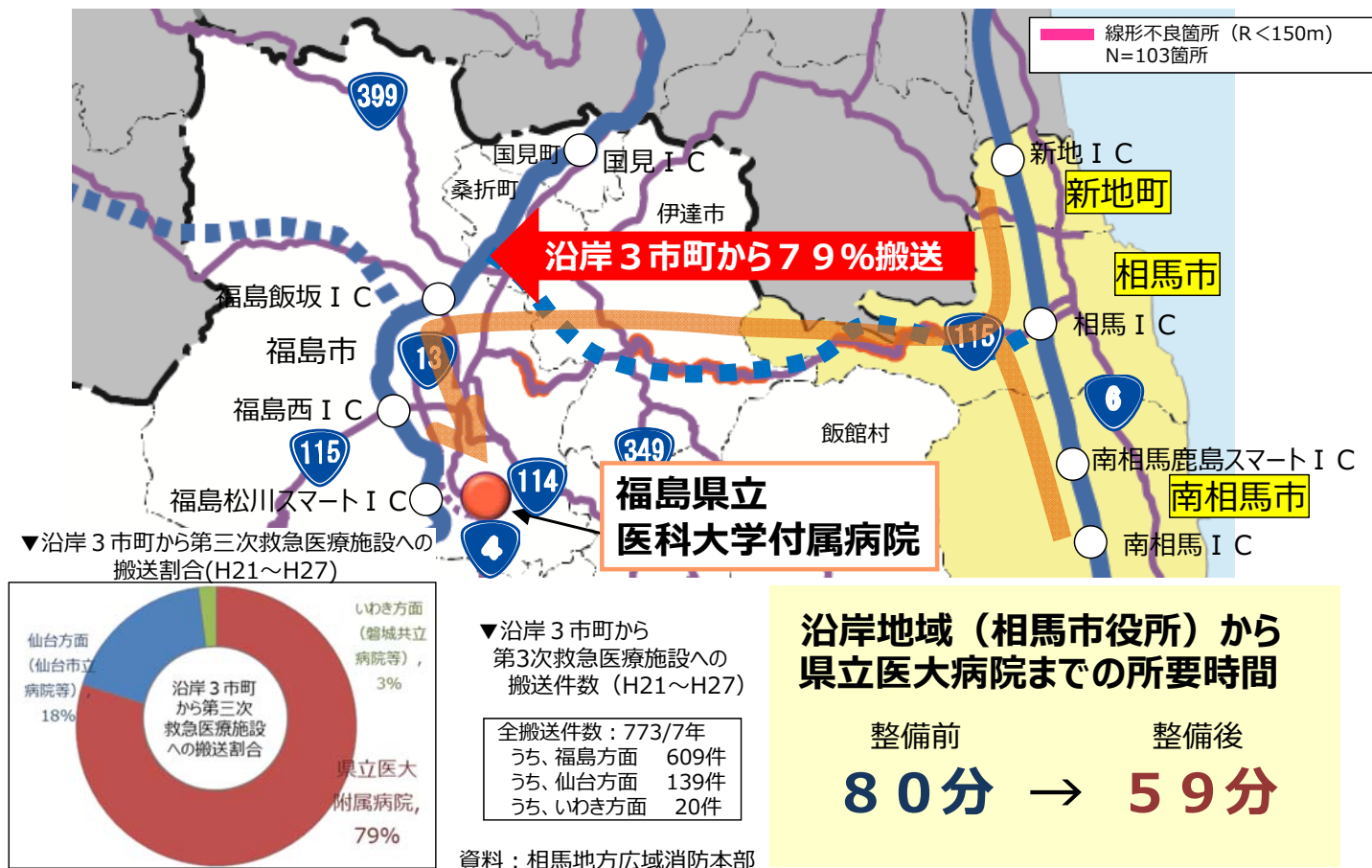
※H11～H27



- 【凡例】
- 主経路
 - 迂回路
 - X 通行止めリスク (事前通行規制区間等)
 - X 通行止めリスク (津波浸水)
 - 津波浸水区域

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

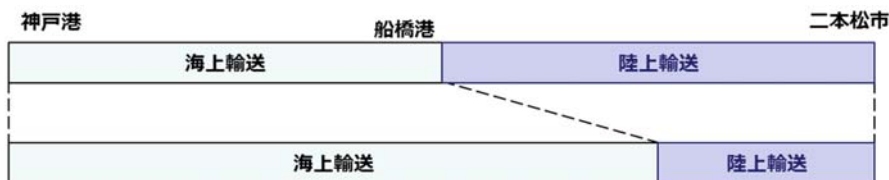
2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



before



相馬港